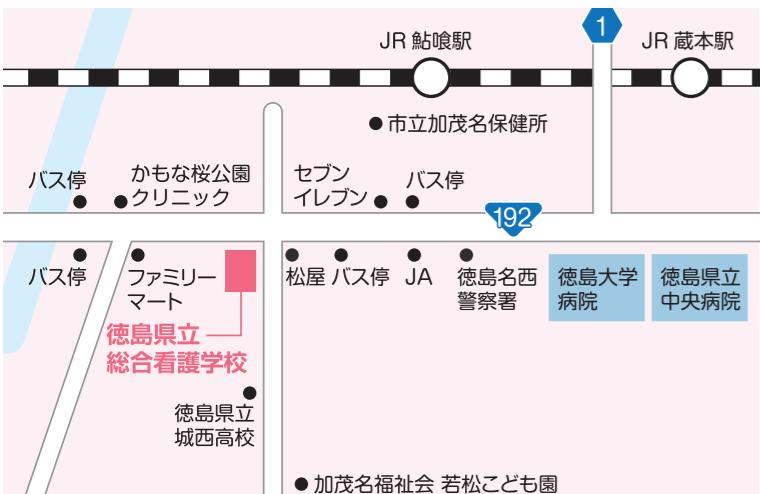




公式マスコットキャラクター
やまももミル



住所 〒770-0046 徳島県徳島市鮎喰町2丁目41番地の6
TEL 088-633-6611
FAX 088-633-6628
WEB <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kangogakkou/>
Mail sougoukangogakkou@pref.tokushima.lg.jp
Access 徳島市営バス・徳島バス
・『鮎喰町1丁目』…徒歩2分　・『上鮎喰』………徒歩2分
JR徳島線
・『JR鮎喰駅』…徒歩15分

德島県立総合看護学校

公式 WEB サイト▶



思いやりと技術が融合する学び舎で
心のこもったケアのプロへ

徳島県立総合看護学校
Tokushima Prefectural School of Nursing
SCHOOL GUIDE 2025

徳島県立総合看護学校 学校案内パンフレット



学校案内2025

INDEX

- P2 徳島県立総合看護学校について
- P3-4 第一看護学科
- P5-6 第二看護学科
- P7-8 准看護学科
- P9-10 卒業生紹介
- P11 看護学校での1日の流れ
- P12 1年間のイベントカレンダー
- P13-14 学校施設紹介



徳島県立総合看護学校

ニューノーマル時代の人材育成を目指し、さらに進化し続ける看護職養成校

本校は、3学科からなる県内最大規模の看護職養成校であり、平成23年4月に開校以来、高い教育理念・教育目的・教育目標を掲げ、地域に根ざし、保健・医療・福祉におけるチームの一員として看護の専門性と責任を持ち、他職種と協働・連携できる看護師を養成しています。

これまで2,046人の卒業生を県内医療機関等へ送り出しています。新型コロナウイルス感染症への対応、少子高齢化による地域医療ニーズの多様化など、医療現場を取り巻く環境は常にめまぐるしく変化しています。本校は常に一步先を見据え、進化を続けていきます。

教育理念

県民に安全で安心な保健・医療サービスを提供できるよう、看護に関する幅広い能力と豊かな感性を持った質の高い看護職を育成し、地域の保健・医療・福祉の分野に貢献することを目指す。

教育目的

看護の専門職として必要な知識・技術・態度を教授し、社会に貢献しうる看護の実践者を育成する。

教育目標

- ① 対象者を生活者の視点で捉え、看護できる能力を養う。
- ② 科学的根拠に基づき安全・安心な看護ができる能力を養う。
- ③ チームの一員としての看護の役割を理解し実践調整する能力を養う。
- ④ 専門職として生涯学び続け、自己研鑽する態度を養う。

看護師までの歩み



※高校等：高等学校、中等教育学校の後期課程

第一看護学科

Department of Nursing 1st



「豊かな心を育む」

第一看護学科では3年間で専門的な知識と技術はもちろん、看護師として大切な感性や思いやりを仲間と共に身につけることができます。先生方から熱心なご指導をいただき、クラスの仲間と切磋琢磨し支え合って同じ目標に向かって日々学んでいます。学生祭や校外研修を通して、団結力を深め幅広い視野を持つことができます。仲間と看護観を共有し合い、互いに高め合う3年間は人生の大きな糧になると思います。ぜひ、第一看護学科で学び一緒に夢を実現させましょう。

第一看護学科 学生紹介



仲間と楽しく

コミュニケーションを大切にし、患者さんとそのご家族から信頼されるような看護師になりたいです。仲間と一緒に楽しく1つ1つの授業や実習を大切にしていきたいです。



理想の看護師になるために

わたしは、患者さんの気持ちに寄り添える看護師になりたいです。3年間で看護の知識と技術をしっかり身につけ、自分の夢を実現できる看護師になりたいと思います。



寄り添う看護

患者さんに適切な看護を施し、安心感を与えるような看護師になりたいです。そのため、学校や病院での人とのコミュニケーションを大切にしていきたいです。

看護師国家試験 合格率

令和 5年度	97.4%
令和 4年度	97.6%
令和 3年度	100 %

カリキュラム

第一看護学科は、3年間で看護師を養成している学科です。1年次では基礎分野の科目で看護における科学的思考力と倫理的感性を伸ばし、専門基礎分野の科目で人体を系統立てて理解し、健康や障害の状態に応じた社会資源を活用できる基本的な能力を養います。また専門分野の科目で看護とは何かを学習していきます。それと並行して、様々な看護技術を身につけるとともに、地域で暮らす人々の生活を理解することをねらいとした実習を行います。その後、多様な場での看護実践ができるように2年生から3年生にかけて段階的に看護を学んでいきます。

基礎分野

●人間の生活・社会の理解

心理学、家族社会学、教育学、保健体育、情報科学、情報科学演習、英語、人間関係論、阿波の探求、阿波の文化と世界の文化

●科学的思考の基盤

倫理学、論理学、統計学、人間工学

専門基礎分野

●疾病の成り立ちと回復の促進

薬理学、病理学、疾病と治療Ⅰ、疾病と治療Ⅱ、疾患と治療Ⅲ、治療論、微生物学、新興感染症、臨床判断の基礎

●人体の構造と機能

解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、生化学、栄養学、食と健康

●健康支援と社会保障制度

公衆衛生学、社会福祉の基礎知識、社会保障制度の実際、関係法規、総合医療論、保健指導論

臨地実習

基礎看護学実習Ⅰ～Ⅲ、地域・在宅看護論実習、成人・老年看護学実習Ⅰ～Ⅳ、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、看護の統合と実践実習

基本情報

修業年数 3年

定 員 120名(各学年40名)

受験資格 高等学校卒業以上

特 徴 ○入学者のほとんどが高校新卒者

○公的病院への就職多数

○保健師や助産師も目指せる

費用

入 学 金 12万円

授 業 代 年間26万4千円

教 材 費 3年間で12万円程度

教科書代 3年間で23万円程度

そ の 他

傷害保険料・健康診断料・国家試験・模擬試験料・タブレット通信料等、3年間で26万円程度

進路

就 職 ○徳島県病院局 ○徳島大学病院 ○徳島赤十字病院
○徳島市民病院 ○徳島県内個人病院
○関西圏の公的病院 等

進 学 ○徳島大学医学部
保健学科 3年次編入

第一看護学科 教員紹介

多様な看護の場で実践できる力を身につけよう



第一看護学科
副学科長
雨堤 京子

少子高齢化が一層進む中で、看護師の活躍する場は医療機関から在宅・地域へと広がっています。その中で、看護師に必要とされる能力は、相手の立場に立ち、価値観を理解し、看護を実践できる事です。第一看護学科では、地域の特色や暮らす人々の生活や価値観を学ぶ科目があります。また、様々な学校行事・クラス活動を通じ他者と協働、連携する力を育みます。私たち教員は皆さんの学びをサポートし、その時を大切に関わりたいと思います。さあ、私たちと一緒に看護を創造し、実践してみませんか。皆さんをお待ちしております。

出会いを学びに



第一看護学科
学科長
中野 和美

第一看護学科では、看護の専門職としての知識・技術・態度を身につけ、地域の人々の健康を支援する人材の育成を目指しています。臨地実習(以下実習)は、県立中央病院を主な施設とし、その他の多様な施設での実習を計画しています。実習では、看護の対象者と出会い、向き合うことで学び・成長できるように、教員は実習施設と連携してサポートしています。(教員は県立病院での勤務経験者)第一看護学科の卒業生は、就職し看護師として活躍する者、進学して助産師・保健師・養護教諭として活躍する者がいます。将来の目標に向かって学んでみませんか。

▶新カリキュラム開始(令和4年4月から)

専門分野

●基礎看護学

看護学概論、看護の理論、コミュニケーション、フィジカルアセスメント看護過程の基礎、生活を整える技術Ⅰ、生活を整える技術Ⅱ、診療の補助技術、臨床判断演習Ⅰ、臨床判断演習Ⅱ、看護研究の基礎

●成人看護学

成人期にある人の健康、急性期にある人の看護、回復期にある人の看護慢性期にある人の看護、終末期にある人の看護、成人看護過程の展開

●小児看護学

小児看護学概論、小児特有の疾患・看護、小児の健康状態に応じた看護、小児看護の実践

●精神看護学

精神看護学概論、患者・看護師関係と看護、精神症状の理解と治療・看護、精神看護の実践

●地域・在宅看護論

地域の暮らしと看護、在宅家族看護論、ケアマネジメント、在宅療養を支える技術、在宅経過別看護、在宅看護過程の展開

●老年看護学

老年期にある人の健康、高齢者の日常生活援助、高齢者のヘルスアセスメント、高齢者の健康状態に応じた看護

●母性看護学

女性のライフサイクルと看護、女性の健康論、妊娠・産婦・褥婦・新生児の看護、女性の健康問題に対する看護

●看護の統合と実践

災害看護・グローバルヘルス、医療安全、看護管理と研究の実践、看護技術統合演習

登校日について

登校日	1限目 / 8:50～10:20 2限目 / 10:35～12:05 3限目 / 13:00～14:30 4限目 / 14:45～16:15
-----	---

実習日 8:30～16:25

奨学金について

○独立行政法人日本学生支援機構 奨学金
○高等教育修学支援新制度
○徳島県保健師・助産師・看護師 及び准看護師修学資金 等

第二看護学科

Department of Nursing 2st



「更なるキャリアアップを目指して」

准看護師の資格を持ち働きながら学ぶことにより気付くことがたくさんあります。例えば、患者さんとの信頼関係の大切さです。「自分らしい生活ができるようになってほしい」その気持ちだけでは患者さんと私たちの距離は縮まりません。伝わってはじめて患者さん自身が自分らしさや希望を表現するのではないかと思います。簡単なことではありませんが少しでも患者さんの気持ちに寄り添えるように、仲間とともに成長していきたいと思っています。

第二看護学科 学生紹介



学業と仕事の両立

現在、私は病院でアルバイトをしながら学校に通っています。学校は週3日なので仕事と学業を両立することができます。また、授業では臨床で働いている方も教えに来てくださっているため、実際に現場で使われている知識を元に授業を教えてくれます。このように働きながら、看護師として必要な学習を行うことができます。皆さんも私たちと一緒に看護師国家試験合格を目指して頑張りましょう。



看護師国家試験合格を目指して

私は現在、看護師国家試験合格に向けて勉学に励んでいます。第二看護学科は准看護師の資格を活かし、勤務しながら学校に通えるため実務経験も積めます。入学前は学業と育児の両立に不安を感じていました。しかし、同じ環境の仲間が多く相談し合えることや、先生方の支えもあり、今は充実した学生生活を送ることができます。



臨床で活躍できる看護師を目指して

週3日の登校で、仕事と勉強の両立がしやすいです。また、臨床での経験と座学をリンクしながら学べるので、より楽しく学べます。第二看護学科では、准看護師が看護師を目指す学科です。今まで培ってきたことを活かして、学びを深めることができます。また、先生方は学生一人一人の家庭環境や現在の状況などを配慮してサポートしてくださるので、安心して学生生活を送ることができます。

看護師国家試験 合格率

令和 5年度	100%
令和 4年度	100%
令和 3年度	98%

カリキュラム

第二看護学科では、准看護教育の2年間を踏まえ、3年間を通して看護師になるための学習をします。基礎分野では、科学的根拠に基づいた知識・技術・態度の基盤を形成します。専門基礎分野では、看護学の視点から人体を系統的に理解し、看護実践の基礎を学びます。専門分野では、対象者の健康状態に応じて、生活を支えられる看護実践ができるような知識、技術を学びます。また、チーム医療、多職種連携について学習し、卒業後臨床現場で実践・調整できる能力を養います。臨地実習では、看護の理論と実践を結び付けて、看護の基礎的能力を養えるように学習を深めます。

基礎分野

●科学的思考の基盤

情報科学Ⅰ(基礎), 情報科学Ⅱ(応用), 人間工学

●人間と生活・社会の理解

論理学, 人間関係論, 社会学, 医療英語, 健康とスポーツ

専門分野

●基礎看護学

看護学概論, 看護過程, 基礎看護技術, 基礎看護援助論, 看護倫理, 看護研究の基礎

●地域・在宅看護論

地域で暮らす人々Ⅰ・Ⅱ, むらしの場における医療処置と看護, 地域で暮らす人々を支えるシステムとマネジメントⅠ, 地域で暮らす人々を支えるシステムとマネジメントⅡ

●成人看護学

成人期にある人々, 急性期, 終末期看護援助論, 慢性期・回復期看護援助論

●老年看護学

老年期にある人々・高齢者の自立を支える看護, 高齢者援助論

●小児看護学

小児期にある人々・小児特有の疾患と治療と看護, 小児の成長, 発達と家族を支援する看護

●母性看護学

母性看護学概論, 妊産褥婦・新生児の生理周産期各期の看護援助論

●精神看護学

精神看護学概論, 精神疾患の治療と看護, 精神臨床看護

●看護の統合と実践

看護管理と医療安全, 災害看護, 卒業研究, 臨床看護技術Ⅰ・臨床看護技術Ⅱ

専門基礎分野

●人体の構造と機能

解剖学, 生理学, 栄養生化学

●人体の構造と機能

公衆衛生, 社会福祉, 関係法規, 健康と暮らし

●疾病の成り立ちと回復の促進

薬理学, 微生物学, 病理学, 疾病論Ⅰ, 疾病論Ⅱ, 疾病論Ⅲ, 疾病論Ⅳ

臨地実習

●基礎看護学実習

●地域・在宅看護論実習

●成人看護学実習

●老年看護学実習

●小児看護学実習

●母性看護学実習

●精神看護学実習

●看護の統合と実践実習

授業時間

登校 / 08:45

1時限目 / 08:50~10:20

2時限目 / 10:35~12:05

3時限目 / 13:00~14:30

4時限目 / 14:45~16:15

登校日

1年次 月曜日・火曜日・水曜日

2年次 火曜日・水曜日・木曜日

3年次 月曜日・木曜日・金曜日

(実習日) 8:30~16:30

奨学金について

○独立行政法人日本学生支援機構奨学金

○高等教育修学支援新制度

○徳島県保健師・助産師・看護師及び准看護師修学資金

○専門実践教育訓練給付金等

基本情報

修業年数 3年

定員 300名(各学年100名) 受験資格 准看護師免許取得者

特徴

○准看護師から看護師への移行教育を行う課程 ○週3日間の登校のため働きながら学ぶことが可能
○卒業生の9割は県内に就職し公的病院や民間病院へ就職

費用

入学金 6万円

教材費 3年間で5万円程度

授業代 年間16万8千円

教科書代 3年間で15万円程度

その他 傷害保険料・健康診断料・国家試験・模擬試験料・タブレット通信料等、3年間で25万円程度

進路

就職 ○徳島大学病院 ○徳島県病院局 ○徳島市民病院 ○JA徳島厚生連
○国立病院機構とくしま医療センター東病院 ○徳島赤十字ひのみね医療療育センター
○徳島県内の民間病院 等

第二看護学科 教員紹介

自分の可能性を信じてみよう



現在のような混沌とした世界情勢の中で、看護師は様々な場で求められています。准看護師の知識を土台に、看護師資格を取得すれば、働く場は病院にとどまらず、さらに広がります。助産師や保健師を目指すことも可能です。自分の可能性にふたをせぬ、今こそ本学科で学んでみませんか。仕事や家庭を持ちながら頑張るあなたを私たちには応援します。

第二看護学科
副学科長
高橋 弥寸子

次代を担う看護師を目指して



第二看護学科
学科長
斎藤 ゆかり

第二看護学科は、働きながら学べる進学コースです。年齢や社会経験の異なる学生さんが学んでいます。そして、毎年多くの卒業生が地域医療を支える人材として、県内各地の医療機関に就職しています。また実習施設にも多くの先輩が就職されています。看護師の先輩として皆さんに関わってくださるので、安心した環境で実習を受けることができます。第二看護学科では看護師としての専門知識や技術はもちろん、コミュニケーション力や問題解決する思考力を身につけ、対象者の心身を癒し信頼される人材の育成をめざしています。これから時代を担う看護師を目指し、共に学びましょう。

准看護学科

Associate Nursing Department



「社会人でもチャレンジ、子育てをしながら学べる」

准看護学科では、幅広い年齢層の学生が共に学んでいます。社会人として働いていた人も多く、子育てをしながら勉強に取り組んでいる人もたくさんいます。年齢、生活背景の違いを超えての学生同士の交流や、実習先での多くの出会いは、私たちを大きく成長させてくれます。また、卒業後に進学・就職という二つの選択肢を持てるのも准看護学科の大きな魅力です。様々な背景を持つ学生が、同じ目標に向かう仲間として励まし支えながら日々頑張っています。

准看護学科 学生紹介



仲間と学ぶ大切さ

准看護学科では、幅広い年齢層の学生がいます。子育て中の方や仕事と両立し働いている方など、生活背景は1人ひとり違いますが学生同士で情報交換をしたり、励ましあったりしながら日々頑張っています。実習では、患者さんと関わったり、看護師さんから助言をもらったりするなど、実際の病棟での経験や学びが得られます。行き詰ったときは仲間と支えながら切磋琢磨しています。これからもさまざまな場での学びや経験を活かして仲間と同じ目標に向かって頑張りたいです。



患者さんから信頼される准看護師

准看護学科では、幅広い年代の方が准看護師を目指して、勉学や実習に励んでいます。現場で活躍されている医師や看護師をはじめとしたさまざまな分野の実践家の方がいます。そのため、教科書の内容以上の経験談や知識を学ぶ機会もあります。実習は、大変なこともあります、患者さんと直接関わることで、授業での学びを深め、さまざまな経験をつむることができます。今後も、患者さんから信頼される看護職を目指して努力していきたいです。



充実した学校生活

准看護学科では、仕事や子育てをしながら看護職を目指す学生がたくさんいます。私自身も社会人からの挑戦で、久しぶりの学生生活で勉強についていけるか心配でしたが、クラスメイトや先生方に支えられながら、頑張ることができています。看護に関する授業や実習は難しく大変なことがありますですが仲間と励まし合い、乗り越える達成感は本当に素晴らしいものです。入学を迷っている方がいるのであれば、ぜひ勇気を出して挑戦してほしいです。

准看護試験 合格率

令和 5年度	100%
令和 4年度	98.4%
令和 3年度	100%

カリキュラム

1年次、2年次を通じ、基礎分野で幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を養います。そして、専門基礎分野の人体のしくみや疾病の成り立ちを中心に、看護が科学的根拠に基づいて行うことを学びます。また、専門分野では看護についての考え方を学習し看護実践に必要な知識・技術・態度を2年間で学びます。臨地実習では、原理原則に基づき対象者に応じた方法で援助技術を深めます。

基礎分野

●論理的思考の基盤

論理的思考の基礎、ICTの基礎と情報管理

●人間と生活・社会

人間と生活、地域社会、看護の場における英語

専門基礎分野

●人体の仕組みと働き

人体の仕組みと働きI、人体の仕組みと働きII、人体の仕組みと働きIII

●栄養

栄養

●薬理

薬理、薬理と看護

●疾病の成り立ち

疾病的成り立ちI、疾病的成り立ちII、疾病的成り立ちIII

●保健医療・福祉の仕組み

保健医療・福祉の仕組み

●看護と法律

看護と法律

専門分野

●基礎看護技術

ここと看護、看護実践の基礎と技術I、看護実践の基礎と技術II、看護実践の基礎と技術III、看護実践の基礎と技術IV、看護実践の基礎と技術V、看護実践の基礎と技術VI、看護の探求

●臨床看護概論

看護概論、看護に必要な倫理

●成人看護

成人看護I、成人看護II、成人看護III、成人看護IV

●母子看護

母性看護、小児看護

●臨地実習

基礎看護実習、成人・老年看護実習、母子看護実習、精神看護実習

基本情報

修業年数

2年

定員

240名(各学年120名)

受験資格

中学校卒業以上

特徴

○10代～50代までの幅広い年齢層 ○卒業生の多数は進学し、看護師資格を取得
○就職先のほとんどが県内の民間病院等 ○高い准看護試験合格率(関西広域連合准看護試験)

費用

入学金

6万円

授業代

年間16万8千円

教材費

2年間で6万8千円程度

教科書代

2年間で5万8千円程度

その他

傷害保険料・健康診断料・准看護師試験・模擬試験料等、2年間で11万円程度

登校日について

登校日

1時限目／8:50～10:20
2時限目／10:35～12:05
3時限目／13:00～14:30
4時限目／14:45～16:15

奨学金について

○徳島県看護師等修学資金貸与制度

○徳島県医師会看護師等修学資金貸与制度

○徳島県奨学金(県教育委員会)

○高等学校等就学支援金制度

准看護学科 教員紹介

看護師になりたいあなたを応援します



准看護学科
副学科長
逢坂 めぐみ

准看護学科では、からだの仕組みなどの知識をはじめとして、こころを育てられる科目があります。学習はもちろん大切ですが、病気や悩みを抱えている方に寄り添い、共感し人の為に何が出来るか考え続けることが大切だと思っています。

「あなたが居てくれて良かった」と思って頂けるような看護師になれるよう、私たち教員は皆さんと一緒に考え学生生活をサポートしていくことが使命だと思っています。新卒の方も社会人経験のある方もしっかり支援していきます。

私たち教員が看護を志す学生に協力します



准看護学科
学科長
小川 昌子

准看護学科には、さまざまな環境の中で准看護師を目指す学生さんが入学してられます。社会人経験者が大半で学生生活では年齢や経験などの異なる学生がいます。そこから人間関係を形成する能力を養うことができます。また、准看護師免許取得後も看護師になる志のもと、学習を積み重ねる学生が大半です。これからの地域医療を支えていくために必要な人材となるよう実践力(知識・技術・態度)を身につけています。

私たち教員は、看護を志す学生に協力していくことが役割だと考えています。

卒業生紹介

Many graduates are active in the medical field.

本校から看護の道へと進んだ
先輩ナースからこれから看護を
志すあなたへ

毎年、多くの看護師が誕生している徳島県立総合看護
学校の卒業生をご紹介いたします。
徳島県内外の病院で医療に貢献する先輩看護師から、
これから看護の道を志すあなたへのメッセージです。

出会いを大切にした
学校生活を

Ns.Makoto



matsumura makoto

松村 真

2022年3月 准看護学科卒
有限会社 真商事
あおぞら内科
訪問看護ステーション

私は、准看護学科を卒業後に、在宅生活を送る高齢者とそのご家族の支援をさせていただくため、看護事業所へ就職しました。現在は在宅生活での支援において必要な看護技術の習得のために、当事業所と親交のある訪問看護ステーションで「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」に沿った研修を受けています。研修を受ける中で、本校で身に付けた知識や技術は現場ですぐに必要なものであると実感しています。患者さんに必要な看護が患者さんの望む場所・型式で受けられるように、本校で身につけた知識と技術をさらに深めてブラッシュアップしていきたいと考えています。



先生方や仲間に
支えられて

Ns.Akari



hikiti akari

引地 明花梨
2021年3月
第一看護学科卒
徳島赤十字病院

私は、勤務先の1年間の研修終了後、現在は総合内科、血液内科、糖尿病、内分泌内科、消化器内科の混合病棟にて勤務しています。主に血液内科チームで働いており、日々の業務を通して疾患や輸血、化学療法などの治療、看護についての知識や技術を深めています。学生時代の臨地実習での学びや患者様との関わりは、実践している看護に活かされていると実感しています。学生時代には新型コロナウイルスの影響により、授業や実習がコロナ以前のように進まず変化を受け入れることに苦慮しましたが、先生方や仲間に支えられ乗り越えることが出来ました。ぜひ、看護師を目指す仲間とともに充実した学生生活を送ってください。応援しています。



高め合える仲間と出会える場所

MW.Miku

私は卒業後、県外の助産学専攻に進学しました。その後、助産師として産婦人科と血液内科の混合病棟にて勤務しています。助産業務に加え、化学療法や輸血の管理、清潔援助なども行うため、助産師としてだけでなく、看護師としても成長できる職場だと思います。毎日新しい学びがあり、先輩方に指導をいただきながら、知識や技術を身につけています。学校には、母子の看護実習モデルやフィジカルアセスメントモデル等の教材が充実しており、実践的な知識や技術を多く学ぶことができます。同じ夢を持ち、ともに高め合える素敵な仲間とも出会うことができました。先生方も親身に寄り添い、サポートしてください。

徳島県立総合看護学校で、有意義な学生生活を送ってください。



蔭原 光玖

2021年3月 第一看護学科卒
徳島県病院局



患者様に寄り添った
退院支援を目指して

Ns.Yukari

家神 友加里

2017年3月 第二看護学科卒
医療法人倚山会 田岡病院
勤続 11年

私は現在、患者支援センターの看護主任として勤務しています。病棟での経験を生かし、退院支援やベッドコントロール、入院の調整等を行っています。患者様の中には、疾患によるADLの低下が予想され、退院後、以前と同様の生活を継続することが困難な方もいらっしゃいます。退院支援では患者さまやそのご家族に、早期から介入させていただき、寄り添いながら対話を大切にしています。また院内外の他職種と連携を図り、ご希望に添った退院支援に繋げています。患者さまから感謝の言葉を頂いた時は、本当に嬉しくやりがいを感じています。私にとって、臨床実習でのたくさんの学びが今の看護観に繋がっています。ひとつひとつの実習を大切にし、積極的に患者さまや実習先の看護師とも関わって欲しいと思います。



yagami yukari

口から食べる幸せを感じてもらうために
摂食・嚥下障害認定看護師へ

Ns.Akira

私は現在、脳神経外科病棟で勤務しています。看護学校を卒業した頃は、患者様に寄り添える看護師を目指していましたが、明確な目標はありませんでした。しかし、意識障害や麻痺、嚥下障害などさまざまな症状のある患者様と関わるうちに、患者様の『口から食べる』に寄り添える看護師になりたいと思い、2022年に摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しました。認定看護師として、一人でも多くの患者様に口から食べる幸せを感じてもらえるよう、多職種と連携を図りながら日々業務を行っています。看護学校では看護の専門的な知識や技術を学ぶ他、看護の道を志す多くの仲間と出会うことができます。コミュニケーションを図り仲間と協力することは、臨床場面でも非常に大切なスキルの一つとなるので、仲間を尊重し合える学生生活を送ってください。また、先生方も何でも親身になって相談に乗ってくれます。3年間は長いようで、あっという間に過ぎていきます。後悔のない学生生活を送り、国家資格を取得してください。看護師として共に働く日を心待ちにしています。



noda akira

野田 昭
2015年3月 第二看護学科卒
JA徳島厚生連 吉野川医療センター
勤続 8年

看護学校での1日の流れ



本校では、年間を通して、様々なイベントを開催しています。毎年、盛り上がる学生祭や多くの方が来校されるオープンキャンパスはもちろんですが、論文発表や交流会なども多く開催しています。また、長引くコロナ禍において、学校内での感染予防対策を徹底しているので、安心して学校生活を送っていただけます。下記のカレンダーは年間スケジュールや1日の学校生活の一例ですが、この他にも多くのイベントがあり、充実した看護学生生活を謳歌することができます。

1日のスケジュール

8:50 授業開始

1時限目は教室で看護に必要な授業を受けます。



10:35 2時限目

医療現場における安全対策と事故防止の対応を考えます。



12:05 昼休み

休憩中に友達と授業の復習!
休憩中もランチミーティング! 意見交換も大切!



14:45 演習

午後からは演習がスタート!
講義の学びを実践します!



16:15 下校

帰宅後は、明日の予習をしたりしています。
振り返り・明日の準備にも余念なく!

1年間のイベントカレンダー

4月

入学式

4月には入学式。ここから学校生活と看護の道の第一歩が始まります。



5月

野外研修

学年・クラス間の親睦をはかり、協調性を養います。
(大塚国際美術館にて)



6月

防災訓練

非常時・災害時に備えた訓練もしっかりと行なっていきます。



7月

オープンキャンパス

様々なイベント、学内ツアーなどで学校のことを知ってもらいます!



8月

フィジカルアセスメント

夏休み中にも自主演習としてフィジカルアセスメントを行う学生もいます!



9月

学生祭

普段関わりのない人たちとも交流の輪を広げられる機会です!



10月

施設見学

関連施設の見学に行って現場の様子を勉強します!



11月

看護観発表会

臨地実習を通して自分の考える看護観を発表します。



12月

看護学生研究発表

今までの実習から事例研究としてまとめたものを発表します。



1月

ICT交流会

他校の看護学生との交流を通して、自分の看護観を確かめ合います。



2月

卒業特別講演

講師の講演を通して、価値観や感性を磨き看護を深めます。



3月

卒業式

看護学校で学んだことを活かして、それぞれの未来がスタートします。



看護学校施設紹介

看護職育成の施設として様々な学習、実習に対応する設備を備えています。

5階建の本館には、教室や実習室はもちろん、図書室、体育館、男女更衣室など学校生活・学習に必要な環境が整っています。また、新館では大人数を収容できる合同講義室や、カウンセリングルームなどが備わっています。各教室には、遠隔授業等を行うためのICT設備等の環境が整っています。

